A photograph of a glass of beer on a wooden tray. The glass is filled with a golden beer and has a white napkin tucked under it. In the background, there are white plates with food and a pair of chopsticks. The scene is set on a dark surface, possibly a table.

断酒を目指したアルコール依存症患者との 継続的支援の考察

白杵市医師会立コスモス病院
地域医療福祉連携室 濱田 大輔

はじめに

30% 114日

はじめに

30% 114日

1年間の断酒率

※樋口進ら, 2017, 「転帰調査におけるアンプロサートの効果検証」
『アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究』

はじめに

いつ行動が変わるのだろうか

いつまで支援を
続けたら良いのか

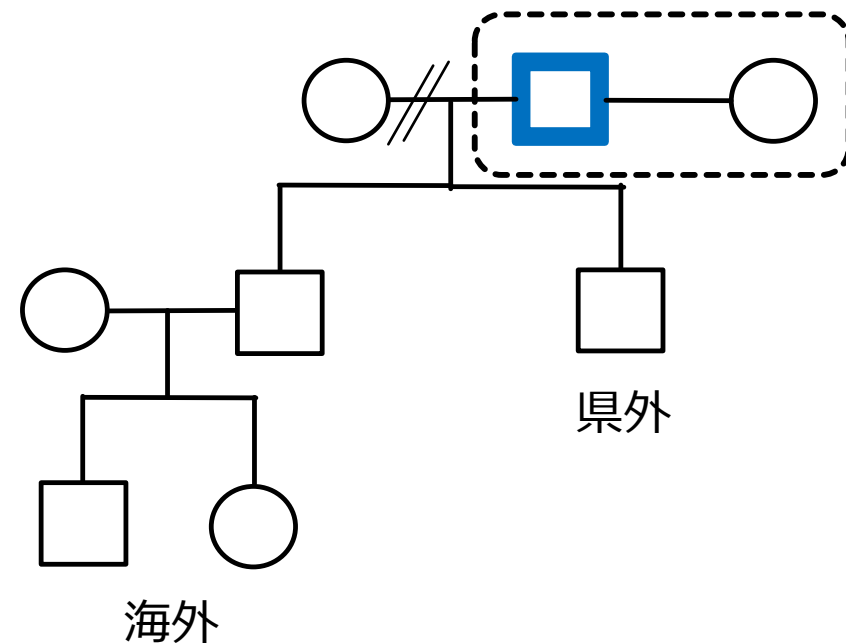


倫理的配慮

個人情報をも特定出来ないよう倫理的配慮を行った

事例紹介

- Aさん、60代後半
- 病名：アルコール依存症、アルコール性肝炎
2型糖尿病、2型糖尿病腎症第2期
- 細かい事は気にしない性格
- 幼少期に父親が肝硬変で永眠
- 仕事付き合いで若い時から毎日飲酒
- 黒霧島が好きで毎日5合、500mlビール3本摂取
- 会社の事務職を定年退職後、実家の農業を継ぐ
- 地域の自治会長、歌謡サークル所属、旅行好き
- 携帯電話の待ち受け画面は孫の写真



本人と家族等様々な関わりの中での変化

現在

入院治療での断酒を
決意した時期

飲酒と断酒を
繰り返した時期

断酒を決意した時期

支援開始

本人と家族等様々な関わりの中での変化

支援開始

断酒を決意した時期

飲酒と断酒を
繰り返した時期

入院治療での断酒を
決意した時期

現在

断酒を決意した時期

医師

「糖尿病の治療に影響が出るので断酒が必要」

妻

「飲酒していないか見守りをします」

長男

本人の主體的な言動よりも 周囲の関係構築に留まる

「小さい孫が成人するまで生きたい」
→断酒を決意

「病院では飲んでいない。誰かがいればなんとかなる」

- ・ 本人、妻と断酒方法を相談
- ・ 本人が一番信頼している長男からの働きかけが断酒に有効と考え、国際電話とメールで連絡

本人と家族等様々な関わりの中での変化

現在

入院治療での断酒を
決意した時期

飲酒と断酒を
繰り返した時期

断酒を決意した時期

支援開始

本人と家族等様々な関わりの中での変化

支援開始

断酒を決意した時期

飲酒と断酒を
繰り返した時期

入院治療での断酒を
決意した時期

現在

飲酒と断酒を繰り返した時期

医師

「飲酒を繰り返していて
依存症は治らない」

妻

「本人が飲酒運転をして他の人に
迷惑をかけないように私が酒を買う」

本人・家族・医師との間に気持ちの乖離が生じていた
飲酒をしている事を隠し適切な治療に繋がらないという悪循環

→本人と一緒に断酒会へ参加

→Bクリニックへ通院、断酒会に参加

5か月間断酒出来たが法事で飲酒

「Bクリニックと断酒会には
飲酒している事が言えなかった」

- 本人の少しの変化でも肯定
- 本人の断酒の希望を当院医師と共有
- Bクリニック医師、PSWと支援方法を統一

本人と家族等様々な関わりの中での変化

現在

入院治療での断酒を
決意した時期

飲酒と断酒を
繰り返した時期

断酒を決意した時期

支援開始

本人と家族等様々な関わりの中での変化

支援開始

断酒を決意した時期

飲酒と断酒を
繰り返した時期

入院治療での断酒を
決意した時期

現在

入院治療での断酒を決意した時期

医師

「肝硬変になる可能性が高い」

妻

「酒を買わない」
・飲酒量の見守り

長男

本人から断酒に向けて主体的な言動が聞かれた
諦めかけていた家族の協力体制が戻った

「父が肝硬変で死んで寂しかった
妻や孫にそんな思いはさせたくない」

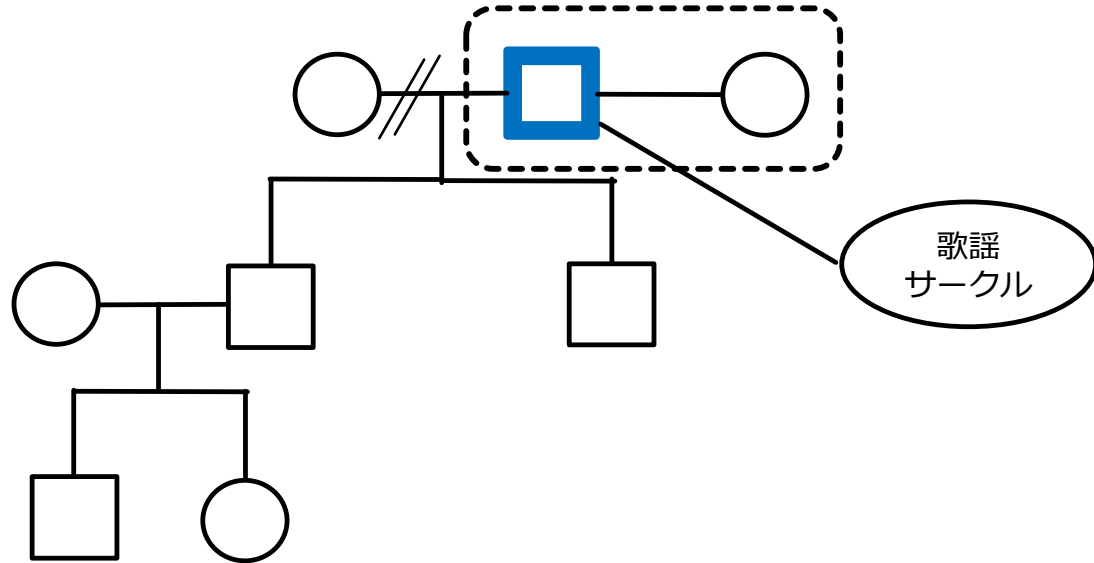
「治療が出来る病院へ入院したい」

→**初めて入院治療を決意**

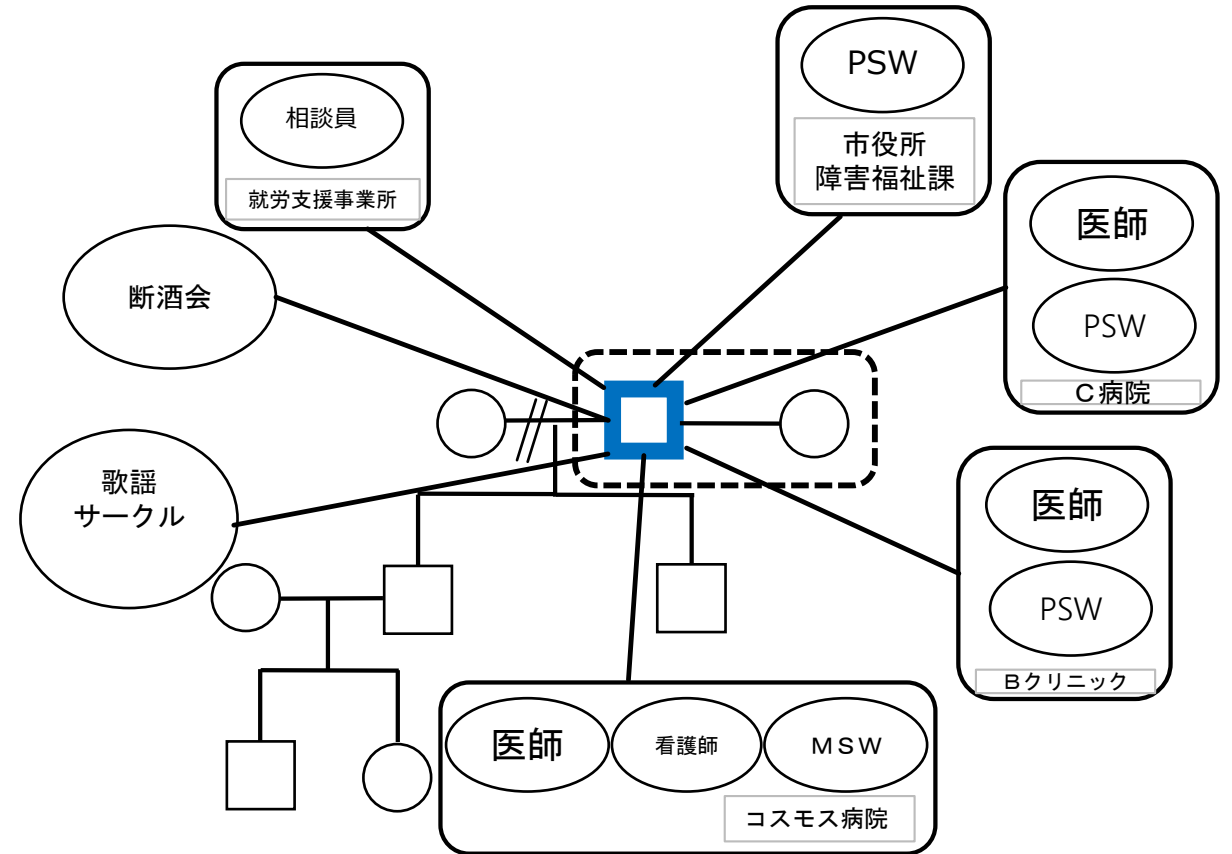
- ・本人がどう生きていきたいかを確認
- ・入院について当院医師、Bクリニック医師と相談
- ・断酒を諦めていた家族へ再度アプローチ

支援の輪の変化

支援開始時



現在



考察

継続的支援の4つのメリット

- ①断酒決意時の原点に立ち返り、目標を再設定出来る
- ②信頼関係が築ける事により、適切な治療に繋がられる
- ③本人の小さな変化でも肯定し、モチベーションを高める
- ④家族・関係機関の窓口になる事で支援の統一が出来る

終わりに

- ・ 飲酒と断酒を繰り返しており手詰まり感があった
- ・ 本人なりに自分自身を変えようとしている事に気づく
- ・ 短期的に結果を求めず継続的に支援する事が重要
- ・ **支援を諦めない事**が大切